

9月26日高等部「薬物乱用防止教室」



「薬物乱用防止」というテーマで、学校薬剤師の宮元先生の講話がありました。乱用されている薬物の実物写真や、芸能人が薬物乱用で逮捕された記事が出てくるスライドを見ながら学びました。最後まで、緊張感のある真剣な雰囲気話を聴いている様子が見られました。

【スライドで紹介された薬物乱用で使用される薬物の種類】

日本で最も乱用されている「覚せい剤」



最近、若者の利用者が
増えている「大麻」



見た目をかわいくした
「MDMA (麻薬)」



何が入っているかわからない
「危険ドラッグ」



講話のあとの質疑応答では、昨年度末にも薬物乱用について勉強していた2・3年生から、たくさんの手があがりました。

【生徒たちから出た質問や感想】

- ・「自分で断ろうとして断り切れなかったときはどうすればいいですか」
- ・「“覚せい剤”だと、(僕が)見てわかるかなあ」
- ・「逮捕されてから、確実に治る治療はあるのですか」

一人一人が「自分のこと」として捉え、考える機会となったようです。



薬物乱用に限らず、自分だけで解決できない問題や、困ったことが起きたときは、周りの人に助けを求めることが必要です。日頃から、生徒たちが安心して相談できるような信頼関係づくりを大切にしたいと改めて思いました。